

令和四年一月二十日提出  
質問第六号

香港における報道弾圧に関する質問主意書

提出者  
松原  
仁

## 香港における報道弾圧に関する質問主意書

中華人民共和国香港特別行政区（香港）で、報道の自由が抹殺されようとしている。

香港紙『蘋果日報』の創業者・黎智英氏は一昨年、香港国家安全維持法に違反したとして逮捕され、昨年実刑判決を受けた。さらに昨年六月、同紙の複数の幹部も同法に違反したとして逮捕されるとともに、同紙の資産が凍結され、発行停止に追い込まれた。これを受けて米国のバイデン大統領は昨年六月二十四日、声明を発表し、「香港と、世界中のメディアの自由にとって悲しい一日となった」と述べたうえで、「中国政府は独立した報道機関を標的にすることをやめ、拘束しているジャーナリストやメディアの幹部を解放しなければならぬ。ジャーナリズムに基づく行動は犯罪ではない」と強く非難した。

昨年十二月には香港のネットメディア『立場新聞』の幹部らが逮捕されるとともに、運営会社の資産が凍結され、事業停止に追い込まれた。さらに本年一月、香港のネットメディア『衆新聞』も、「やむをえない選択だ」として運営停止を発表した。

報道の自由は、民主主義の基盤である。中国政府による報道弾圧は、国際社会の普遍的価値に真っ向から挑戦するものであり、断じて許されない。

香港における中国政府による報道機関への弾圧について、政府の見解如何。  
右質問する。